

平成30年度「長久手市役所の仕事」通知表”の作成
 ～長久手市行政評価・外部評価～⑧（平成30年8月2日）開催概要

開催概要	
会議等の名称	平成30年度行政評価・外部評価⑧ 「里山保全事業」【みどりの推進課】
開催日時	平成30年8月2日（木） 午前10時50分から午前11時50分まで
開催場所	市役所西庁舎2階 第7・8会議室
出席者氏名 （敬称略）	<外部評価実施者> ・行政改革推進委員 石橋健一、森田直美、島田智子 ・外部評価委員 下村紗世、森田圭柊 <担当課> 建設部次長 加藤英之、みどりの推進課長 磯村和慶、同課課長補佐 水野広道 <事務局> 総務部長 青山 均、行政課長 飯島 淳、同課課長補佐 児玉剛、同課主任 加藤優作
傍聴者人数	4人
問合せ先	長久手市総務部行政課 0561-56-0605
備考	

外部評価実施者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・里山へのアクセスについて、交通弱者（高齢者）もいるため、課題である。 ・中高生への周知も図れるとよい。 ・中学や高校の生物部の活動の場とするのもよい。 ・保全が必要な地域に対しては、市が土地を購入して事業を実施していければよいと思うが、現実的には難しい。ある程度、市が地権者と団体との間に入り調整（一定の権限を発揮）できるようなシステムの構築が必要と思う。 ・人を集めるためのイベントやコラボレーションなどを活用するのも方策である。 ・都市開発への対応を適切に行ってほしい。 ・計画づくりのなかで、地権者、団体、行政の3者の意見を取り入れるように努めてほしい。3者が納得するように努めてほしい。
-------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・先進地や成功事例などを参考にしてほしい（茅ヶ崎市の取組など）。 ・どういうふうに里山を使っていき、何が長久手市にとってはよいのか、万博の理念を継承していくうえで、どう実現していくのかを関係者の中で考え、よい計画づくりにしてほしい。 ・管理運営団体が管理していくうえで、本格的に里山保全・整備をしていく場合には、経費について、市が負担することも考慮してほしい。
--	--

<p>講評・まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計画づくりについて、事業の関係者が多いこと、将来の歳入減・歳出増の厳しい中で里山を保全していくことは、重要であり、官民のパートナーシップを実現していくうえで、公園管理の方法がひとつの参考となる。 ・自分たちの里山は自分たちで守るという「愛着」は重要と思う。市民協働を盛り込んだ計画にしてほしい。
---------------	---